

第 10 回那須烏山市庁舎整備検討委員会の結果概要

1 本日の会議の取扱いの確認

議事(1)までは非公開とし、議事(2)以降は公開とすることで承認された。

2 議事

(1) 新庁舎の候補地に関するデータ等整理一覧表について

事務局から以下の内容を説明した。

- ◇ 新庁舎の候補地に関するデータ等整理一覧表については、2次評価に向けた事前アンケートの際に使用した一覧表をベースに、「事業費の多寡」及び「用地取得の見通し」の2点について追記・修正したもので、3次評価に向けた事前アンケートに回答する際に参照する資料となる。
- ◇ 「事業費の多寡」については、詳細な内訳は省略し、2/26の第9回委員会で示した概算事業費を記載している。
- ◇ 「用地取得の見通し」については、一部候補地における地権者との対応経過を反映したものの。

※質疑応答の主な内容は、以下のとおり。

- | |
|--|
| <p>Q. JR 烏山駅周辺の土地について、買収への理解を示している一団の土地と市有地を合わせた面積で、以前試算した必要敷地面積（第4回委員会にて提示）を充足できるのか。</p> <p>A. 想定建築面積に加え、来庁者用駐車場及び災害時の緊急招集対応等職員分の駐車場並びに緑地面積を含めた必要敷地面積（最大 7,535 m²）を充足する見込みである。</p> <p>Q. 3候補地における調整池の設置と排水先についてはどのように考えているのか。</p> <p>A. 現時点においては具体的にどの場所に調整池を設置し排水するかは未定であるが、開発許可が必要となる前提でしっかり検討を進めていきたい。</p> <p>Q. 事業費の多寡の項目で、各候補地の庁舎整備費及び道路整備費について、土地取得費や建物補償費等の内訳はどのようになっているのか。</p> <p>A. 新庁舎の候補地に関するデータ等整理一覧表について、土地取得費や建物補償費等の内訳を追記修正したい。</p> |
|--|

(2) 新庁舎の候補地の3次評価の進め方について

事務局から以下の内容を説明した。

- ◇ 3次評価の流れとしては、各委員に事前アンケートに回答いただき、事務局において結果を集計。6/28の第11回委員会に資料として提示し、集計結果に加え、なすからのまちづくりを考える若手有志の会（若手世代を中心とする市民のリアルな声を行政に届けるため、庁舎整備検討委員会の若手委員6名により独自に結成された団体）によるアンケート結果等をはじめとする市民の声を踏まえながら、総合的な観点から評価を行い候補地を絞り込みたい。
- ◇ 事前アンケートについては、2次評価時に改めて評価することとした「経済性」「実現性」の評価項目について、優れていると思う候補地を最大2か所選び、理由を記入の上、5/31（金）までに事務局に提出いただきたい。

※質疑応答の主な内容は、以下のとおり。

- Q. 事前アンケートの集計に当たり、評価項目にウェイト付けは行うのか。
- A. 評価項目にウェイト付けは行わない。3次評価に当たっては、アンケート集計結果だけでなく、なすからのまちづくりを考える若手有志の会によるアンケート結果等をはじめとする市民の声も踏まえながら、総合的な観点で評価を行い、絞り込みを行っていきたい。
- Q. 3次評価において1候補地に絞り込んだ後、選定されなかった2候補地はどのように取り扱うのか。
- A. 3次評価で選定されなかった候補地についても、2次評価で「総合計画との整合」「利便性」「将来性」において優れていると評価された候補地であるため、今後行っていくまちづくりのランドデザインの検討の中で、有効活用について議論していくこととしたい。

(3) その他

- ◇ なすからのまちづくりを考える若手有志の会によるアンケート調査結果について報告があった。

※アンケート調査結果に対する委員からの意見は、以下のとおり。

- ・市庁舎整備に興味はありますか？との設問に対し、約25%が「いいえ」と回答している。現庁舎は耐震性が不足しており、大きな地震が起きれば命が危ない。こういった危険性の周知が足りないのではないか。命を守るためにも、しっかりと庁舎整備を進めていかなければならない。
- ・不足していると感じる公共施設・場所はありますか？との設問に対し、公園、ホール、子どもの遊び場といった意見が多い。庁舎だけでなく、まちづくりのランドデザインの検討において併せて検討していけると良い。
- ・女性団体連絡協議会において行われたアンケート調査結果と比較してみると、公園、ホール、子どもの遊び場の整備を望む声が多く、アンケートの回答者の年齢層が高くても若くても同じ結果が出ていると感じた。